

【別添2】

「新たな中期計画の基本的方向」に関する市民意見一覧

インタビュー当日にお寄せいただいたご意見は、原則、発言のまま掲載していますが、特定の個人を識別することができる、個人・法人等の正当な利益を害する、及び誹謗・中傷の原因となる等のおそれがある場合は、それに類する記述の削除や表現の変更を行っています。

「これから横浜市の方向性」 14のテーマに関する発言

● 毎日の安心・安全

- 関内のあたりは最近、客引きが増えてきている。昔は野毛など繁華街で棲み分けがあつたけれど、今はその境界が曖昧で危険だと思う。街の線引きがなくなってきたのが気になる。（60代・男性）
- 違法風俗問題があった頃クリーンアップ作戦をやって、一時はきれいになつた。でも結局は移動しただけで、根本的には変わっていない。ただ、地域の人が一緒に動いたことで、治安意識は少し上がった。（70代・男性）
- 行政としては、完全に排除するよりも、エリアを分けて整理するのが現実的だと思う。原発の問題と同じで、危ないものを排除するんじゃなく、社会の中でどう扱うかを考えないといけない。（60代・男性）
- ウィーンでは風俗も法律で管理され、登録や課税によって安全が保たれている。良し悪しではなく現実への対応として制度がある。横浜も市民の自主性で安心をつくる街にしていくべき（70代・女性）
- 舞岡駅の近くは本当に暗い。駅から家まで20分くらい歩くが、街灯がほとんどなくて危ない。そこを通るしか道がなく、駅を作った以上はもう少し明かりを整えてほしい（70代・男性）
- 公園に外国の方を多く見かける。ごみの出し方など、相手がわかってくれる状況づくりが必要だと思う。（40代・女性、小5のこどもあり）
- 駅近の交番が潰れる、残っていても人がいない。警察力の強化や防犯カメラの増設（AI活用）をすべき。（20代・男性）
- 終電後の駅など怖い時に警察官がいてくれると安心。（20代・女性）
- 職場の近くなど治安が悪い場所がある。進捗やお金（みどり税など）の使い道が第三者との対話などで見える化されると、気持ちよくお金を払えるし、住み続けたい気持ちが高まる。（20代・女性）
- 青葉区でも強盗殺人のような事件が起こるため、夜道が暗い場所への対策をすべき。（30代・女性）
- 自宅から1kmほど離れた場所で殺人事件が起きて怖かった。戸建ては狙われやすいと聞いた。事件当時はパトカーが巡回していた。田舎でも強盗が入るのだと驚いた。（60代・男性）
- 地域で見張る（見守り）活動がなくなっているので、防犯対策をしっかり取り組んでほしい。（40代・女性、小2のこどもあり）
- 学童隊など、今高齢者が担ってくれている地域の見守り活動を、私たち30～40代の世代もいずれ引き継いでいかないとならない。意見だけ言うのではなく、自分たちも地域活動に協力すべき。（40代・女性、小2のこどもあり）
- 治安の不安があるため、防犯対策を強化すべき。（20代・女性、小2／未就学児／未就園児のこどもあり）
- 治安のいい街がいい。（小学生）

- 近所で強盗事件があり、防犯意識が高まった。以前より怖いと感じることが増えた。 (20代・女性)
- 横浜では一人暮らしの女性が巻き込まれる事件のニュースも多く、人の多さゆえに怖さを感じることがある。 (20代・女性)
- 知人が詐欺被害に遭い、高齢者が多い地域では電話や訪問を利用した詐欺が起きやすいと感じた。今後さらに増えるのではないかと心配している。 (40代・男性)
- 犯罪への対策について、市や区がどのように取り組んでいるのかが見えにくい点には不安がある。ただ、東京都と比べると市や区が身近な存在だと感じる。 (50代・女性)
- 家賃や治安のバランスを重視して横浜を選んだ。夜も明るくお店が多く、怖いと感じたことはない。 (30代・女性)
- 市役所など公共施設が非常に綺麗で、地元と比べると設備の差を実感する。 (20代・女性)
- 犯罪の不安は今のところない。 (70代・女性)
- 青葉区は生活コストが高く、他の区のほうが安いと感じる。高級スーパーが多く、路線の減少にも不安がある。以前は犯罪が少なく安全な印象だったが、近所での事件もあり、最近は治安の変化を感じている。 (50代・女性、小5のこどもあり)
- 東京と違って街灯がなかつたり、公園にトイレがなかつたりする点は驚いた。 (50代・女性)
- 防犯灯がLEDに変わったが暗く、防犯の面で不安がある。 (40代・男性、小5のこどもあり)
- 横浜は防犯意識が高く、巡回や呼びかけがしっかりしている印象。都内よりも安心感がある。 (30代・男性)
- 危機意識が薄く、自治体からの強い発信を求めている。こどもを一人で遊ばせにくくなり、防犯や交通発達の影響を感じる。高齢の両親は遠出を避け、近場で生活を済ませるようになっている。 (40代・男性、高1／小6のこどもあり)
- 道路が狭く、自転車に乗れない環境であることから、こどもの成長や老後の生活において危険性を感じている。 (40代・男性／小1のこどもあり)
- ニュースで、大きな道路陥没等の事件を見る機会が増えたように感じる。安心して暮らせるまちであってほしい。 (50代・女性)

- 防災・減災

- 花火大会の際、交通が麻痺状態になっていた。地震などの災害が起きた場合、二次被害につながるのではないかと感じた。(40代・男性)
- 南海トラフの発生確率が上がったニュースを見て不安を感じている。避難所の収容人数や場所をわかりやすく発信してもらえると安心できる。(20代・女性)
- 災害への備えとして、学校の体育館に空調を設置してほしいと感じている。(20代・女性)
- 南海トラフや首都直下地震のシミュレーションを見たが、最終更新が2012年で古く感じた。最新の情報が更新されているのか不安に思う。(30代・男性)
- 自治会が破綻している地域では防災が非常に必要。中学生などの若者を防災の誘導などで参加してほしい。(70代・男性)
- 大地震が来た時にどうなるかの明確な情報を市民に分かりやすく示してほしい。(40代・女性、小2のこどもあり)
- 避難場所の学校名が区や県で異なり、告知の統一感が欲しい。(40代・男性、小1のこどもあり)
- 外区と町の境に住む人たちが、新幹線の高架下を通らなければならないなど避難場所に苦労する可能性があるため、避難場所の利便性で分けてほしい。(50代・女性)
- 津波対策をさらに強化してほしい。(20代・男性)
- 地震が怖いから、防災が気になる。(小学生)
- 南海トラフ地震の懸念を聞き、防災について調べたがよくわからなかった。防災グッズを揃えるなど対策しているが、市としてもっと情報発信が必要だと思う。(50代・女性)
- 地震などの災害時、液状化などの不安を感じる。(30代・男性)
- 防災への取り組みは弱いと感じる。発信も少なく、市としてロードマップを示してほしい。青葉区は山の中にあり津波の心配はないが、災害は必ず来るものとして備えるべきだ。(60代・男性)
- 防災について、川崎市にあるような屋外拡声スピーカーでの避難放送がなく、高齢者などに情報が届きにくいので設置を検討してほしい。(40代・男性、小6／小5のこどもあり)
- 空き家が放置されており、地震時の危険性を懸念している。(30代・男性)
- 小学校の校舎は地震に耐えられるよう補強されており、防災面で安心感がある。(40代・男性、小6／小5のこどもあり)
- 下水道などのインフラや公共施設の老朽化が問題であり次の豪雨に対策が間に合うのか不安がある。(40代・女性、小5のこどもあり)

- 医療

- 田舎のように店や病院が少ないということもなく、大きな病院から個人病院まで多くあり、徒歩や自転車でも行ける距離にある。 (50代・女性)
- 職場の健康診断を任意の病院で受けられるが、市外の事業所のため、横浜市内の対応医療機関が少ない。人間ドックなどに対応する医療機関を増やし、企業との連携を拡大してほしい。 (30代・男性)
- 健康診断の中で、ピロリ菌検査などの有料オプションを一部無料化してもらえると、早期発見につながると思う。 (30代・男性)
- 病院経営が厳しく老朽化が進んでいる。都内病院と比較するとボロボロで雰囲気が怖い。 (20代・女性)
- 総合病院への手当を手厚くして、救急医療など赤字になりやすいが必要な医療を守るべき。軽い症状にはオンライン診療の体制を整えるべき。 (30代・女性)
- 病院が多く、すぐに行けるのが助かっている。 (60代・男性)
- 横浜市の救急体制は素晴らしいが、週末は交通渋滞で到着が遅れることがある。緊急時の対応策を強化してほしい。 (40代・男性)
- 港北区に来て7年目になる。大規模病院が近くにあるという安心感は少しある。 (40代・男性、小1のこどもあり)
- 周囲にはクリニックが多く、病院が移転してもバス送迎が始まり、距離的な不便は生じていない。 (20代・男性)
- クリニックや病院が多く、医療面での安心感がある。 (30代・女性)
- 近くに大きな病院がいっぱいあるが、次々と新しい医療機関ができるため、迷ってしまい、かかりつけ医（ホームドクター）が見つけにくい。 (60代・女性)
- 全国的な病院があるなど、医療体制はいい。 (70代・男性)
- 健康であれば住みやすい。どこでも同じかもしれないが、病気をすると大病院の待ち時間が長く大変。 (70代・女性)
- 基幹病院が近く緊急時も安心だが、物価上昇に対して給料が変わらず負担を感じている。 (40代・女性、小5のこどもあり)
- 横浜は比較的良いと思う。病院関係やスーパーなど買い物が便利。 (70代・女性)
- 地域の医療について、近所で病院が2つ閉鎖し、かかりつけ医も高齢で医療の不安がある。 (40代・男性、小5のこどもあり)
- 住んでいる地域はやや田舎だが、複数の病院があり老後も安心して暮らせそうだと感じる。 (30代・男性)
- 親ががんになったときに大変だった。早期にがんが発見できる取組や家族の支援があると安心できる。 (30代・男性)
- 病院が充実しているのが良い。 (50代・女性)
- 医療機関や施設が整備されている点を評価し、住み続けたいと考えている。 (30代・女性)

- 自宅周辺には大学病院や市民病院など総合病院が多く、必要に応じて選んで受診できる環境が整っている。 (40代・男性、小6／小5のこどもあり)

- 子育て

- こどもが元気に育ってくれないと、将来私たちを支えてももらえない。今のかどもたちを支えることが大切だと思う。 (50代・女性)
- 子育ては終わったが、これから社会を支えるのは今のかどもたちだ。手厚い支援をしてほしいと思う。 (60代・男性)
- 子育てに関しては待機児童ゼロと聞いて驚いた。仕事と子育てを両立できる環境が整っているのは良いと思う。 (20代・女性)
- こどもの病気は多いので、医療費が安いのは助かる。 (20代・女性)
- 子育て世帯に時間のゆとりが生まれる仕組みはありがたい。実家が遠くて頼れる人がいないので、行政の支援に期待している。 (20代・女性)
- 英会話塾やプログラミング教室など高額な習い事への金銭的な支援があれば嬉しい。英会話キャンプなどイベントが都心部に偏っているのが残念。 (50代・女性、小5のこどもあり)
- こどもアドベンチャーカレッジのような体験型のイベントは、実際に参加したこどもたちがとても楽しんでいたと聞いている。夏だけでなく、春や秋など別の季節にも開催して、体験の機会を増やしてほしい。 (40代・女性、小5のこどもあり)
- こども手当を東京都並みに増やしてほしい。 (40代・男性、小1のこどもあり)
- 東京都のように経済的な子育て支援が充実すれば良い。 (20代・女性)
- 保育園の待機児童や熱中症アラートによる放課後キッズクラブ（学童）の利用制限で、預け先がなく大変。夏に無料開放できる室内施設が欲しい。 (20代・女性、小2／未就学児／未就園児のこどもあり)
- 夏が暑すぎて外で遊ばせられないため、室内を無料で開放できる公共施設が必要。 (40代・男性、小1のこどもあり)
- 横浜市のテニスコートは予約取得が難しい。夏休み期間などはこども優先枠を設けるなどの工夫があっても良いと思う。 (50代・女性)
- 横浜美術館のこども向け体験イベントは魅力的で、裸足で絵の具を使うような体験が印象に残っている。こうした機会が夏休みだけでなく、もっと頻繁に実施されると良いと思う。 (40代・男性、高1／小6のこどもあり)
- こどもを遊ばせる場所が多く、子育てしやすい環境だと思う。 (60代・男性)
- 都内と比べて、子育て支援や給付金がどの程度あるのか気になっている。経済的な負担への不安がある。 (20代・女性)
- 20年前に転居。当時はこどもを預けて病院に行くのが大変だったが、今は保育所が増えて改善したと思う。 (60代・女性)

- 生まれ育った場所がずっと横浜で、市の子育て施設が充実しており、ズーラシアなどが手頃な値段で運営されているのがありがたい。（20代・女性、小2／未就学児／未就園児のこどもあり）
- 雨の日などにこどもが遊べるスペースがあつたら助かる。（40代・女性、小5のこどもあり）
- 東京と比べると児童手当などが悪い印象がある。（70代・男性）
- 中学校の給食が全校で始まるのは嬉しく、医療費控除や保育の無償化にも助けられている。（40代・女性、小5のこどもあり）
- 横浜は自信を持って「ここに住んでいます」と言える街。TV番組でみなとみらいやセンター南が住みたい街ランキング上位と紹介されていた。センター南は病院、区役所、ショッピングセンターが揃い、若い世代が多く子育てしやすい環境。特に緑が多く、車道と歩道が分離されて安全。（70代・男性）
- 公園が多く緑も豊かでこどもが遊べる環境はあるが、もっと自由に遊べる場所がほしい。町田市と比べると、横浜市のこども向け施設はやや物足りない。（50代・女性、小5のこどもあり）
- 持ち家があるので住み続けていきたい。子育て支援に関して、以前は他市よりひどいと感じたが、小児医療費の補助が中学生まで拡大し、中学校給食も導入予定なので、満足度が上がってきている。（40代・男性、小5のこどもあり）
- 限られた資源は、こどもたちの未来のために使ってほしい。彼らのほうが大変な時代を生きるからだ。（40代・男性）
- 長男が高校に進学する際に、都内にも横浜にも学校が多く、選択肢が大きいので、こどもたちの成長を考えると横浜に住む意味がある。（40代・女性、中1／小4／小1のこどもあり）
- 孫の小児医療費助成があるがたい。（70代・男性）
- 地方都市出身者として住民税の高さを負担に感じている。東京の子育て支援制度（保育料無償化など）と比較し、安心して子育てできるか疑問を抱いている。（30代・女性）
- 都内の子育て支援が充実しており、金銭的にお金がかからない。横浜はそれがないため、子育て支援の面で友達にはおすすめしづらい。（40代・女性、小5のこどもあり）
- 都内23区の方が子育て支援が充実しており、経済的負担も大きく変わらないため、子育て世代には都内の方が適していると考えられる。受験の選択肢も都内の方が多い。（30代・女性、小6／小3／小1のこどもあり）
- 横浜は住みやすいと感じるが、こどもができたときの手当など、行政の支援について詳しく知りたいと思う。（20代・女性）
- 将来の子育てを考えると、行政の支援が十分受けられるか不安がある。港北区の保育所を調べたところ、人口が多く空きが少ない印象だった。（30代・男性）

- 教育

- 横浜市の教育が進化し、例えば中学生が全員英語を話せるようになる、市職員が海外と交渉できる力を持つなど、海外に強い街になると未来があると思う。観光だけに頼るのは限界がある。 (40代・男性)
- AIの活用で仕事が楽になった。成績表を手書きしていた頃に比べ、効率が大きく向上した。 (40代・男性)
- 私立高校で働いているが、DXを積極的に推進している。課題提出や成績管理はすべてデジタル化し、手作業は行わない。 (40代・男性)
- 支援級の子どもが増えているのに先生の数が足りない。シニアの人が学校の手伝いに行ったらいい。先生が抱えている負担を外部人材で活用し、地域と学校が連携すべき。 (70代・男性)
- メタバース授業は聞いたことがあるが、実際に使ったことはない。ただ、ゲームの中で海外の子と交流しているため、そのような体験を学びにも取り入れられると良い。 (50代・女性、小5の子どももあり)
- メタバースを利用して、病気などで登校できない子の授業参加や、海外の同世代との交流ができるようにしてほしい。 (40代・女性、小5の子どももあり)
- 学校では日本語に慣れていない子もいて、授業の進度に差が出やすい印象がある。そのため、子どもが塾で補う必要が出てくるなど、親としては学習面に負担を感じることもある。 (40代・女性、小5の子どももあり)
- 自分は元中学校教員なのだが、教師はもっと楽しく魅力ある職業だとアピールすべき。倍率低下は質の低下につながる。地域と学校がうまく連携し、様々な意見を聞きながら方向性を持っていくのがいいと感じる。 (60代・男性)
- 國際都市横浜なのに英語を喋れる人が少ない。中学生が外国人に道案内できる程度の英語力を習得できる環境にしてほしい。 (70代・女性)
- 英語教育を横浜市全体で強くすることで、子育て世帯の移住を呼び込めるのではないか。 (30代・女性、小6／小3／小1の子どももあり)
- 英語を話せるようになりたいって思っている。 (小学生)
- 子どもが小学生の頃は1クラス30人の2クラス編成で、手厚い教育環境が良かった。 (50代・女性)
- 子どもが巣立ったため学校教育については分からぬが、海外に住む息子の子どもが中学生になる頃、日本に戻って日本の学校で学ばせたいと言っている。その時にうまく学べるのか、自分たちの老後も含め、将来のことを考えるようになった。 (60代・女性)
- 当時、自分の子どもの中学校給食がないのはショックだったが、いろいろ今工夫されているようで、期待している。 (60代・女性)
- 当時は、中学校給食はなかったが、自分が子どもをもつた時から見ると、市で様々な施策が打たれ、お金の問題も解決できる良さがある。 (70代・男性)

- 今まで横浜市は中学校給食がないということだったが、来年から始まると聞いている。 (70代・女性)
- 坂が多く、高齢者の移動が難しい環境であるため、老後の生活には不便な点が多い。税金が高いにもかかわらず補助が少ない。 (40代・女性、小2の子どももあり)

- 高齢・長寿

- 5年前、山口県から夫の両親を呼び寄せた。施設が少なく、見学にも時間がかかり、対応が難しいと感じている。もっと簡単に密接な支援が受けられるようになると良いと思う。 (50代・女性)
- 両親は公団で暮らしているが、徐々に衰えてきた。父の入院準備中、母を一人にできずショートステイに預けたが、入院費よりも高額だった。 (50代・女性)
- スーパーで認知症と思われる高齢者が警察官に囲まれている場面を見かけた。今後認知症の人が増える中で、市としてどのように対応していくのか、親がそうなったときにどうすべきか不安を感じた。 (50代・女性)
- 高齢者がシステムに慣れておらず、窓口対応が大変そうに見える。年配の方向けに、街で導入されているシステムの使い方を学べる場があると良いと思う。 (30代・女性)
- 東京都では高齢者へのエアコン補助があると聞いた。横浜でも同様の支援があると良いと思う。 (30代・男性)
- 父が要介護5で認知症だが、横浜の介護施設は申請数や期間に制限があり手続きが煩雑。デジタル化が進めば改善されると思う。 (30代・男性)
- 老後のインフラ整備について、施策が中途半端にならないか不安がある。多くの施策があるが、本当に実現できるのか疑問が残る。 (60代・女性)
- ネットで手続きが完結するのは便利だが、高齢になっても対応できるか不安がある。便利さの内容や対象者に応じた支援について考える必要があると思う。 (60代・女性)
- 高齢者の引きこもりがちな状況を改善するため、市全体で小さい頃から健康に対する取り組みを推進し、活性化してほしい。坂が多い横浜ならではの健康増進の施策ができたら良い。 (50代・女性、小5のこともあり)
- 認知症対策として、軽度認知障害 (MCI) のテストによる早期発見・早期治療（進行を遅らせる薬）が重要。 (70代・女性)
- あえて暮らしにくさを挙げるとすれば、坂が多いことだ。今は問題ないが、高齢になった時に大丈夫だろうかという不安はある。 (40代・男性)
- 将来的に高齢になったとき、医療や鉄道などのインフラが維持されるか心配だ。このまま充実した状態が続いてほしいと思う。 (60代・女性)
- 緑が多く、買い物も便利で、中心地まで行かなくても何でも揃う。年齢とともに変化する生活にも対応できる住みやすさがある。 (50代・女性)
- 坂道が多い地域の人は長生きしていると聞いた。歩く負荷が適度にかかるのは良いと思う。 (50代・女性)
- 介護施設が少ない（介護度3でないと入れない）し、ヘルパーも不足。サポートが必要になっても安心して暮らせるよう、施設を増やしてほしい。 (70代・女性)
- シニアの知恵・知見を若者に継承するネットワークがあるといい（シニア食堂などのアイデアはどうか）。 (70代・男性)

- 住み続けたいが、将来的に引っ越しすることも考えている。坂が多いため、年をとって足が悪くなった時に生活できるか不安。生活インフラが整っている都心への住み替えも検討。仕事は辞めたので、子どもの希望（海外など）に合わせて動くつもり。（50代・男性）
- 住んでいる団地はエレベーターがなく、上の階ほど高齢者が離れて住んでいる。空き家になっても売れない。自分自身もエレベーターがないと困る年齢になりつつあるが、他の土地（新潟、札幌など）の環境を見ると横浜から引っ越し選択肢はない。（50代・男性）
- 自分と奥さん共に実家が地方だが、横浜が便利で、横浜に住み続けたい気持ちが強い。高齢者になっても住み続けられる街になってほしい。選択肢が多いのが横浜の魅力。（50代・男性）
- ずっと住み続けたい。生まれ育ちが横浜で、観光地が多く自慢できる。現在は運動になるから坂や階段も歩けるが、年をとったら宅配に頼るか、平地の場所へ住み替えることになるかもしれない。新しい交通線ができるまで便利になれば住み続けたい。（40代・女性）

- 障害児・者

- 障害者スポーツの支援など、もっと広く市として取り組みを進めてほしいと思う。 (60代・男性)
- インクルーシブな公園（小芝）は新しい形で面白い。こういう場所をもっと増やしていくと、障害を持つ子や小さい子が行きやすくなる。 (60代・男性)
- 特別支援学校の先生をしている親族から、身体の障害を持ったこどもたちが増えしており、先生の人手が足りないという問題を聞いている。 (20代・女性)
- 住み続けたい（家があるため）。横浜駅に戻るとホッとする。しかし、バリアフリーに懸念。市営地下鉄の駅など、エレベーターや乗り継ぎが不便な場所が多く、高齢になつたら厳しい。 (50代・女性)
- 介護職を増やす施策があれば安心して老後を迎えると考えている。 (30代・男性)
- 車椅子が通れない歩道の整備など、長く住んでいるからこそ変わつたらわかるような、納税してよかったですと思える実感が持てる施策がほしい。 (40代・女性、小5のこどもあり)

- 暮らし・コミュニティ

- マンションに住んでいるが、隣人と話す機会がなく寂しさを感じる。地域で人が集まるような場があると良いと思う。 (30代・女性)
- 近所の民間鉄道会社施設では季節ごとにこども向けイベントが開催され、人が集まって賑わう。こうした交流の機会がもっと増えると良い。 (30代・女性)
- 図書館をよく利用するが、ガイドブックなんかは何十人待ちで、本が借りられない。また、図書館に行くと席で寝ている人がいて座る場所もない。 (70代・女性)
- 家ではテレビやスマホなどの誘惑が多く、なかなか勉強に集中できない。以前住んでいた地域の図書館には仕切りのある自習室があり、とても集中できたが、今の図書館は机が並んでいるだけで落ち着かない。教育の一環として、図書館にもっと集中できる自習スペースを整備してほしい。 (40代・男性、小6／小5のこどもあり)
- 図書館で働く非正規の司書の生活を保障してほしい。利用者だけでなく、労働者側にも配慮し両方が回るようにしてほしい。 (40代・女性、小5のこどもあり)
- 大和市の複合公共施設のような近隣市町村とも相互協力し、利用できる施設を増やすべき。横浜市だけで頑張る必要はない。 (40代・男性、小5のこどもあり)
- シニアのネットワークづくり（シニア食堂など）や、シニアの知恵・知見を若者に継承するシステムを市が率先して作ってほしい。ファシリテーター育成、交流の場などで多世代交流を活性化できるといい。 (70代・男性)
- 町内会がお年寄りで仕切られているため、若い人の意見を吸い上げ、場を広げてほしい。 (70代・男性)
- 隣の人を知らない、そんな寂しい世の中にはしていきたくないと思うし、人とのつながりの場っていうのは絶対必要。 (70代・女性)
- 多文化共生については、外国人の労働者を単に「呼び込めばいい」という短絡的な考えではダメで、企業は彼らの習慣・風習・文化を理解し、受け入れる必要がある。 (70代・女性)
- 日吉近辺に大きな図書館がない。 (40代・男性、小1のこどもあり)
- 図書館の分室化・充実を望む（夏休みに読み聞かせや研修スペースが近所にない）。 (30代・女性、小6／小3／小1のこどもあり)
- 近所の図書館が古い、暑く、居心地が悪い。夏に涼む場所として快適な図書館にしてほしい。図書館が好きではない子でも行けるよう漫画を置いてもいいと思う。 (30代・女性、中1／小3／小2のこどもあり)
- ネパール料理店の方などは地域に根ざそうとするので問題が少ない。こどもが生まれれば行政と接点が持てるが、稼ぎに来た20~30代の方とはアクセスポイントがない。コミュニティの中で核になる人を掴んで対話を続ける必要がある。 (20代・女性)

- 外国人向けに横浜市のルール（ごみの分別など）を分かりやすく提示してほしい。（20代・女性、小2／未就学児／未就園児のこどもあり）
- 昔と比べて地域の横のつながりは薄くなつたと感じる。（40代・男性）
- 団地は高齢化が進み、空き家を外国人が購入し、コミュニティに参加しない（挨拶がない、回覧板が読めない）ことに課題。しかし、それを差し引いても横浜は東京と比べ圧倒的に住みやすい。地方に行っても、「東京ではなく横浜に住んでいる」と言うと「それは良いね」と話題になる。（50代・男性）
- 最近外国人の方々が多くなっている。また、治安に不安を感じる（特に夜間）。関内あたりのサイレンの音が多くなった気もする。（50代・男性）
- こどもの頃に比べ近所とのつながりが希薄になっている。つながるための仕組みづくりが課題。（60代・男性）
- 自治会・町内会の高齢化が進み、担い手がいない。高齢者移動支援のボランティアで、病院とか買い物に行けない方を支援している。（70代・男性）
- 暮らしやすいと感じている。買い物の選択肢も多く、緑もあり、東京都のように入や道路が密集していないので、イライラすることがなくなった。店も多いが、密集していないのが良い。（50代・女性）
- 人々が街への愛着を持って暮らしており、便利さと自然の両立が魅力だと感じる。（60代・女性）
- 子育てしている身として、受動喫煙に关心がある。喫煙が禁止されている公園での喫煙に対する見回りはもちろん、公園以外での屋外での受動喫煙を防ぐような対策が欲しい。（30代・女性、中1／小3／小2のこどもあり）
- 人への思いやりや譲り合いの意識があり、困っているこどもや高齢者を助ける風土がある。（50代・女性）
- 横浜は国際的な雰囲気というイメージがある。それは、昔から港町横浜みたいな印象があり、全国的にも横浜は国際的だという認知があった。最近はこれだけグローバル化が進んだらどこ行っても外国人だらけである。京都は外国人が多いぐらいである。若い人はそんなに全然感じないと思う。（70代・男性）
- 小さい頃、横浜が国際的だと思ったのは“赤い靴”や山下公園があったからだと思う。遠足で行って「ここか」と感じた記憶がある。今の若い人は、もうインターネットがあるため当たり前になつていて。（70代・男性）
- 外国人にとって住みやすい。偏見が少ない、昔からの歴史がある。閉鎖的な雰囲気がないので気が楽。（70代・女性）
- 高齢者からこどもまで多様な人が暮らしており、温かみがある。（60代・女性）

- 交通

- 雨の日はバスを使うが、朝は渋滞していて自転車の方が早い。シェアサイクルをもっと増やしてほしい。（20代・男性）
- バスがどんどん減ると高齢者が移動できなくなる。無人化バスを推進し運転手不足を補うべき。古い街の狭い道は救急車が入ってこれない。（20代・男性）
- 横浜は坂が多く、高齢になると病院などへの移動が負担になる。（20代・男性）
- 小回りバスの運行範囲を広げて、坂の多い地域の利便性を高めてほしい。（30代・女性、小6／小3／小1のこともあり）
- バス運転手のなり手が減っている。この問題を先延ばしにしそうだと問題が起こる可能性があるなと思っている。（30代・女性）
- グリーンラインの開通が長引いたように、鉄道計画は時間がかかりすぎる。（50代・女性）
- バスの本数が減って混雑。地下鉄やLRTも進まない。（50代・女性）
- 坂が多く、年を取ったときに移動が大変そうだと感じる。バスがないと不便な場所も多い。（30代・女性）
- 郊外の交通インフラを便利にするのが必須。（50代・男性）
- 新横浜と横浜をつなぐ道路構造が脆弱（一本でいいない、渋滞、高速代）。バス運転手が不足しており、本数が増やせない。交通とまちづくりは一体化して進めるべき。（50代・男性）
- ブルーラインの新百合ヶ丘延伸は大反対。その予算をベースの施策に回すべき。（60代・男性）
- 車を持たず公共交通を利用しているが、バスや電車の便が良く、どこへ行くにも便利。大阪出身だが、横浜は交通面で非常に快適だと感じる。（30代・女性）
- コミュニティバスの実験運行があったが、気づかぬうちに終わってしまった。市民への周知や関わりがもっとあれば、より良い実証実験になるとと思う。（40代・男性）
- 戸塚駅周辺は買い物、病院が近く、区役所にも行きやすいので暮らしやすい。JRと地下鉄があり、交通も便利。昔住んでいた金沢区も、道路整備などで発展して便利になった。（70代・男性）
- 交通インフラ（道路）が抜群によくなつた。電車も戸塚駅から横浜まで10分で行けるなど便利になつた。（70代・男性）
- 暮らしにくいことがいっぱいある。戸塚区は公共交通が非常に悪い（バイクで5分のところがバスで30分）。（70代・男性）
- 地区によって差はあるが、全体的に車の運転もしやすい。（50代・女性）
- 娘も中高時代は都内へ通っていたが、湘南新宿ラインの開通で出やすくなつた。暮らしにくいと思ったことがないので、引っ越す理由もなかつたのだと思う。（50代・女性）

- 箱根などにも日帰りで行ける距離で、年を重ねても気軽に温泉旅行ができるのが良い。 (50代・女性)
- 買い物も都内へ一本で行けるため、不便を感じていない。 (50代・女性)
- 現在は快適に暮らしている。相鉄沿線に住んでおり、お台場にも行けて便利になった。 (60代・女性)
- 交通の便が良く、都心にも短時間で行けるので遊びにも便利。暮らしやすいと感じている。 (20代・女性)
- 職場が東京にあり、交通アクセスが良く通勤に便利。 (20代・女性)
- 交通の利便性が高く、娯楽施設も充実している。 (30代・男性)
- 静岡や香川の高松市と比べると、物価や交通の便など横浜は恵まれていると感じる。 (20代・女性)
- 鶴見は坂が多くて高齢者には大変な面もあるが、全体としては暮らしやすい。ただ、場所によってはバスの本数が少なく、不便に感じる人もいる。 (40代・女性、中1／小4／小1のこどもあり)
- 場所によって全然違う。杉田駅界隈はコンビニ、商店街、スーパーが充実し、京急線で交通も便利で住みやすい。海沿いはJRと京急が並行しており、どちらかが止まっても動ける。 (60代・男性)
- 4歳の頃からこの地域に住んでいることもあり、全体としては住みやすいと感じている。交通の便も良いが、坂が多く、駅までは距離こそないものの、高齢になった際の移動には不安がある。 (40代・男性、高1／小6のこどもあり)
- 2年前に京都から引っ越してきたが、今の南区は通路が広く自転車で行き帰りできるため、生活しやすい。ただし坂が多くて驚いている。 (30代・女性、中1／小3／小2のこどもあり)
- 都心へのアクセスが良いのも魅力的。ただしバスが混雑しているため、みなとみらい線を港南区ぐらいまで延伸してほしい。 (40代・女性)
- 横浜に20年居住。交通インフラがしっかりとしていると感じる。小規模な食品モールなどおしゃれな店の出店が横浜に集中する傾向があり、街として計画的に作られている印象がある。都市計画もしっかりとされていて「税金を払う価値がある」と感じる。相鉄線がJRに直通したのも便利。 (50代・男性)
- 横浜には長く住んでおり、暮らしやすいと思う。近所に観光名所があり、職場の港へのアクセスも良かったため便利。 (50代・男性)
- 居住地は八王子・横浜・渋谷など都内へのアクセスが良好である。中学・大学受験の経験からも、横浜と東京の両方に出てやることで志望校の選択肢が広がる点が良かったと感じている。 (20代・女性)
- 京急沿線でJRにもアクセスでき、住環境として利便性が高い。 (20代・男性)
- 地元（和歌山）や大阪と比較して、電車に乗れば多様な場所へ容易に行け、ショッピングや娯楽施設が多い点が魅力である。 (20代・女性)

- 買い物や交通の便に不自由は感じない。ただし、最寄り駅（青葉区）の駐輪場が常に混雑しており、午前中から昼にかけてママチャリで埋まり、停められないことが多い点は不便である。（30代・女性）
- 交通網が発達しており、電車一本で東京へ行け、川崎経由で西東京にもアクセスしやすい。バスの便数も多く、移動に支障はない。（30代・男性）
- 横浜は比較的暮らしやすい街だと考える。交通網が整備されており、都心へのアクセスが容易である。（30代・女性）
- 50年近く在住。東京よりも雰囲気が素晴らしいイメージで、暮らしやすい。工業施設が近く、バス路線がありフットワークが良い。敬老バスに感謝している。（70代・女性）
- アップダウンが激しい横浜市なので、車道が狭く、歩道も必然的に狭いところがデメリットだと感じている。登下校では潜在的な危険個所を確認しながら通っている。（40代・男性、小1のこどもあり）
- インフラや交通の利便性が良い。地方の知人に「いいところに住んでいるね」と言われる。（60代・男性）
- 生まれ育ったのもずっと横浜であり、住みやすい。交通の便が最も良いと感じている。山が多く、徒歩移動は限界がある。道も狭くガードレールも少ないため、こどもにとっては危険な場所もあると感じている。（40代・女性、小2のこどもあり）
- 横浜に来て4、5年になる。交通や買い物は便利でよいと思う。坂道が多く、ベビーカーで歩くのがつらく、その点はかなり厳しかった。住宅街の道が狭く電柱が多いため、車の運転が怖い。駐車場がなかつたり、あっても少なく料金も高い。（30代・女性、小6／小3／小1のこどもあり）
- 電車一本でいろいろな場所へ行けるため、暮らしやすいと感じている。（20代・女性、小2／未就学児／未就園児のこどもあり）
- 主要駅の駐輪場がキャパオーバーで、探すのに時間がかかる。駅前のロータリーがマンションになったので、駐輪場を増やしてほしい。（40代・女性、小5のこどもあり）
- 坂が多く、電動自転車でなければこどもを運ぶのは不可能。（40代・女性、小2のこどもあり）
- 運転免許がないため移動は徒歩か公共交通機関だが、千葉のテーマパークにも日帰りで行けるほどアクセスが良い。（40代・女性、小5のこどもあり）
- こどもは鉄道も好きで、横浜は鉄道が間近に多くある点は魅力だと感じている。（40代・男性、小4のこどもあり）
- 映画が封切られたりすると、県外からも来て土日は車が混んで乗れない。（70代・女性）
- 田舎すぎず都会すぎず、どの年代にも過ごしやすいと感じる。交通や利便性もちょうど良い。（50代・女性）
- 相鉄・東急直通線により、川崎方面への通勤時間が短縮され（40分→20分）、すごい便利になったので住み続けたいと思う。（40代・男性、小6／小5のこどもあり）
- 交通や利便性がちょうど良い。（50代・女性）

- 根岸線は駅数が多く、遅延の要因にもなるが、その分居住エリアが分散しており各駅の混雑は少ない。通勤ストレスも少なく、車窓からの景色が良い点も魅力に感じている。（30代・男性）
- 自宅は閑静な住宅街だが、少し歩けば商店街があり買い物に困らない。（20代・女性）
- 電車で出かければ娯楽も充実しており、静けさと便利さのバランスが良く、今後も住み続けたいと感じている。（20代・女性）
- こどもの通学で、グリーンライン方面は地図上は近いが、電車だと遠回りで時間がかかる。東急線直結の駅まで行ける小さいバスがあると便利。（40代・女性、小5のこどもあり）
- 現状に満足しており住み続けるだろう。アクセスの良さ、自然・ショッピング環境の優位性を友人に勧めている。（70代・男性）
- 住み続けたいという気持ちはあるが、物価と家賃の高さにより地元・茨城と比べて生活の質が低下している。環境が変わる機会があれば転居の可能性もある。趣味（競馬場）においてアクセスの良さがあり、現時点では住み続けたいと考えている。（30代・男性）
- 通勤時間の短さや、閑内周辺のデーツスポットへのアクセスが良いことを推奨していた。家賃が高くても、通勤時間の短さがお金に換算できると伝えた。（50代・男性）
- アクセスが良く、生活環境が整っているため、住み続けたいと考えている。市営地下鉄の延伸区間（あざみ野以遠）の快速運転が遅い点を改善してほしいと感じている。（30代・男性）
- 生活圏へのアクセスが容易な点は大きな利点である。一方で、市民税が高いと両親から聞いており、将来一人暮らしをする際には家賃と税負担の高さから横浜を選ぶか迷う可能性がある。（20代・女性）
- 東京に住むよりも選択肢が多いと感じる。美術館など文化施設は東京に近いことがメリット。（60代・男性）

- スポーツ・文化

- 横浜市のテニスコートは予約取得が難しい。 (50代・女性)
- イベントが多く楽しめる街（マラソン、ベトナムフェアなど）。マラソンのコースは景色が良いと国内外から評価されている。プロスポーツチームが多いのもいいところ。 (70代・女性)
- テニスをしているけれど、利用している施設の駐車場が高い。2時間で料金を払わないといけないのは負担に感じる。 (70代・男性)
- 山崎公園に屋外プールがあるが、営業期間が短すぎる。今の夏は暑すぎるから、時期を延ばすか、屋根をつけるなど工夫が必要。 (70代・女性)
- 横浜美術館のこども向け体験イベントは魅力的で、裸足で絵の具を使うような体験が印象に残っている。こうした機会が夏休みだけでなく、もっと頻繁に実施されると良いと思う。 (40代・男性、高1／小6のこどもあり)
- GREEN × EXPO 2027で野球のグラウンドが奪われ、チーム解散や遠征費増加で野球を辞めざるを得ない子が多くいる。野球ができる場所がどんどん減っている。 (小学生)
- 平日にキャッチボールする場所がない。学校のグラウンドを夜間開放したり、こどもたちだけで利用できる場所を増やすべき。 (40代・男性、高1／小6のこどもあり)
- 根岸の競馬場跡地を、競馬場としてではなくても歴史を活かした施設として再活用してほしい。 (30代・男性)
- 金沢区の歴史的な魅力（伊藤博文の別邸跡など）をもっと発信すべき。民間鉄道会社と共同で鎌倉への史跡巡りの冊子を作っているが、市の観光サイトでも魅力的な写真で訴求すべき。 (60代・男性)
- プロ野球の球を受けられる体験がやってみたい。 (小学生)

- 産業・にぎわい

- 経済的な余裕があつてこそ、人に優しい街になると思う。観光経済の活性化や、市外・国外から人とお金を呼び込む仕組みが重要だ。 (40代・男性)
- 1980年代の日本のように、技術力を高めて海外市場にアピールする必要がある。観光以外にも、海外の人にお金を払つてもらう仕組みを考えるべきだ。 (40代・男性)
- リサイクル市場は今後大きく伸びると聞く。高齢化社会を踏まえ、家に眠る品を掘り起こして海外に売る仕組みや、自治体と連携したリユーススポットなどの事業も有効だと思う。 (40代・男性)
- 横浜の産業やイベントが増えると街が元気になりそうで楽しみ。 (20代・女性)
- スケートイベントを毎年見に行っている。新横浜の賑わいやイベント後の食事スポットが気に入っている。 (20代・女性)
- 横浜は魅力的な街だが、財政が厳しいというニュースもある。大企業の誘致を頑張ってほしい。 (20代・女性)
- ライブ会場はあるが数が少ない。繁華街以外にもライブハウスを増やしてほしい。 (30代・男性)
- 外資系企業が横浜を選ぶ理由に「外国人にフレンドリーな環境」がある。市として国際的な発信を続けてほしい。 (20代・女性)
- 企業誘致をするため、横浜市はどうすべきかもっと考えてほしい。 (70代・女性)
- 再開発で駐車場やマンションばかりになり、商店街がなくなつて生活が不便になった。住民の生活を考えて、買い物ができるお店を誘致すべき。 (30代・男性)
- お金を稼ぐことが最重要と感じる。税収を増やすために、若者を他の街から呼び込む（移住インセンティブなど）ことと、大企業を誘致（法人税収増）することに注力すべき。 (50代・男性)
- 企業誘致はまだ余地がある（東京での維持が大変な企業を誘致するなど）。新横浜と横浜をつなぐ道路構造が脆弱（一本でいいない、渋滞、高速代）。バス運転手が不足しており、本数が増やせない。交通とまちづくりは一体化して進めるべき。 (50代・男性)
- 企業誘致の際、従業員に「住民税を安くする」などのインセンティブを施策として行うべき。先進都市 横浜として、他都市の成功施策をたくさん真似するべき。 (50代・男性)
- ふるさと納税による流出額が大きく、必要な施策ができなくなる懸念があるため、魅力ある商品開発などで流出を圧縮すべき。 (30代・男性)
- 都内企業に捉われているので、横浜ならではの企業を増やし、相乗効果を生み出すべき。 (20代・男性)
- 横浜市のイベントは市立の小中学校に通うこども限定のものが多く、私立のこどもが対象外になっているのが残念。市内の私立も含めて在校生全員が参加できるようにすれば、他地域から通うこどもも横浜で過ごす機会が増え、

親子で街の魅力を感じやすくなると思う。 (50代・女性、小5のこどもあり)

- エッセンシャルワーカーの若者（バス運転手、コンビニ店員など）が不足しており、外国人を受け入れるための補助金や、スマホ翻訳を活用した多言語対応などの施策が必要。 (50代・女性)
- ショッピングや観光スポットが多く、エンタメ要素が充実していて、趣味を楽しむには満たされる環境だと感じている。 (20代・女性)
- みなとみらいなど、おしゃれで楽しい場所が多い。 (20代・女性)
- 適度な距離感と落ち着いた雰囲気がありながら都会にも近く、暮らしやすい。首都圏だと趣味関連のイベントも多く、神奈川県内外の催しに参加しやすくなつた。 (20代・女性)
- スーパーも充実しており、買い物に不便を感じることはなく、不自由さは特に思い当たらない。 (30代・女性)
- 住んでいる地域は商店街が綺麗で、花の手入れをしてくれる人もいる。街並みも整っていて気持ちが良い。 (30代・女性)
- 飲食店が周りにたくさんあり、住みやすいと思う。 (小学生)
- 東京（文京区）で半分過ごしたが、横浜はゆったり暮らせる。病院、学校、スーパー、公園の数が多い。松原商店街など、古風な商店街が残っていて好き。 (50代・女性)
- 車があれば都心にも出やすいし、暮らしやすいと思う。みなとみらい周辺に来ると癒される。しかし近所のディスカウントスーパーが閉店し、スーパーに行くのに徒歩20分かかるようになり暮らしにくく感じる側面もある。 (50代・女性)
- 色々な観光スポットもあって、遊びに来るならお勧めしたいと思う (小学生)
- 慣れているため住み続けたいが、日常の買い物は川崎か横浜に出るしかない。 (70代・女性)
- 安価で品質の良いスーパーが車で行ける距離にあり、住み続ける理由になっている。 (20代・男性)
- イベントが多い。GREEN×EXPO 2027も楽しみ。 (70代・女性)
- 観光という意味では大変お勧めしたい。ただPRが上手ではないと感じる。三渓園のお月見会など、雅な魅力をうまくアピールすべき。海外からの観光客が東京に流れてしまうのを食い止めるための魅力的なものや交通手段が必要。 (50代・女性)
- 来訪は薦めたい。みなとみらい、山下公園は映える。ただし、中華街が食べ歩き中心になり、昔ながらの高級店が減ったのが残念。 (40代・女性)
- 観光名所が多く、遊びに来るのは非常に魅力的な場所であるため、観光目的でおすすめできる。 (40代・男性／小1のこどもあり)
- イベントやショッピングセンター、歴史的な観光資源が豊富。 (30代・女性)
- 宿泊せずに帰ってしまう人が多く、宿泊を伴うコミット感を感じさせることができないので推し進めてほしい。 (60代・男性)

- 観光地はみなとみらい、中華街などに固まっており、3時間で回りきれるところがよい。 (50代・男性)
- みなとみらい21地区などを中心に、本社機能を横浜に移す企業を増やすための仕組みや誘致の取り組みが必要だと思う。 (30代・男性)
- ライブ会場はあるが、東京に比べると数が少ない。繁華街だけでなく、郊外にもライブハウスを増やすと良いと感じる。 (30代・男性)
- 横浜国際競技場やアリーナの大規模イベント時に、駅（小机駅）のキャバを超えて人が集まる。地元住民が電車に乗れないなど実害を受けている。集客が先になりすぎている。 (40代・女性、小5のこどもあり)
- 夜景など魅力が多い。 (20代・女性)
- 観光スポットが充実している。東京に住む友人たちと比べ、家賃も低く交通も便利で、ショッピングモールも揃っているので住みやすい。 (20代・男性)
- かつては暴走族が多かったが、街が整備され、観光客も訪れる経済効果のある街へと進化した。 (40代・男性)
- 横浜は都会と自然のバランスが良く、イベントや文化施設も増えて住みやすいと感じている。 (40代・男性、小5のこどもあり)

- まちづくり

- みなとみらいは完成形に近づいているように感じるが、今後さらにどのような展開があるのか気になる。 (50代・女性)
- 土地利用規制の見直しで、マンションばかりの建設を規制し、スーパーなど買い物ができるお店が入れるような建物も建てられるようにすべき。 (30代・男性)
- 建物がバラバラに建っていて、GREEN×EXPO 2027 を含めてもう少し都市計画を見直してほしい。 (70代・男性)
- 横浜に住んで18～19年になる。グリーンラインができてからマンションが急増し、18年前より住みにくくなつた印象がある。その代わり資産価値は上がりつており、売却を見据えて住んでいる状況。 (40代・男性、小4のこどもあり)
- 住みやすいと思っているが、自分で住みやすくしないと住みづらい。横浜市は市が主導で方針を立てる印象だが、戸塚区など住民が増加し、学校は校舎増設の必要が出ている一方、栄区は人口が少ないなどばらつきがある。区による独自性も持つてもらえるといい。 (70代・男性)
- 東京で半分過ごしたが、横浜に戻るとホッとする。東京だと、高速道路沿いのタワマンの密集に圧迫感を感じるけれど、横浜駅に着くと「大地が見える」ので、帰ってきたなという安心感がある。インバウンドが増え、駅のコンコースでキャリーケースに引っ掛けられるなど不便になった。 (50代・女性)
- 横浜は東京にも近く、世界に誇れる街だと思う。夜景も整然としており、世界的に見ても美しい方だと感じる。スカイラインが整つていて、都市としての景観が非常に優れている。 (70代・男性)

- 環境

- GREEN × EXPO 2027 のカウントダウンの広報を新横浜駅で見たが、内容の説明がなくわかりづらかった。良い取組なので、もっと情報発信してほしい。 (20代・女性)
- ネットゼロカーボンって言われても、実際に風力とか太陽光とか、何をやっているのかが見えてこないのが気になる。 (40代・女性、小5のこともあり)
- SDGs やゼロカーボンへの取り組みは進んでいる。 (70代・男性)
- 温暖化現象は深刻な問題で、環境対策は生活に密着しており、地域単位から世界的な問題につながる。 (70代・女性)
- ごみのリサイクルや洋服の寄付ができる場所を送料負担なしで設置してほしい。 (30代・女性)
- 循環型都市への移行（ごみの分別）について、プラスチックごみの分別の一本化が行われたが、分別後のごみがどうなっているのかを「見える化」してほしい。市民の協力意欲が高いので、見える化すればさらにリサイクルが進むと考える。 (60代・女性)
- 地球温暖化への姿勢をもっと打ち出してほしい。 (70代・男性)
- GREEN × EXPO 2027 跡地の活用も気になっている。 (20代・女性)
- GREEN × EXPO 2027 は、万博の反省点を活かし、残しがいのあるものにしてほしい。 (50代・男性)
- ごみ収集の情報がインターネットで調べにくい。年代に合わせた情報提供の工夫が必要だと思う。 (50代・女性)
- 退職後に、市の広報を見ればいろいろわかると、いい発見をした。里山ガーデンなど自然再発見も多い。地球温暖化への市民一丸となった取り組みが必要。 (70代・女性)
- 週末にイベントがあるとポイ捨てが増える。海辺の地域ではビーチクリーンなどの活動があり、そうした取り組みが市民の意識を高めると思う。街をきれいに保ちたい。 (40代・男性)

- みどり

- 横浜は公園が多いと聞いたが、知らなかった。ペット連れでも利用しやすいよう、公園をもっと活性化してほしい。（20代・男性）
- 街中の公園が少ない。公園には木陰やミストを設置し、夏でも遊べるような工夫をしてはどうか。またボール遊び禁止など「ダメ／いい」の二択の規制ではなく、時間や場所での「棲み分け」もいいのでは。（60代・男性）
- 都筑区には遊具の多い公園があり、複数の保育園が順番で利用していた。区役所に相談すればできることは多い。（70代・男性）
- こどもだけで遊んでも安全な街なのか不安。楽しく遊べる公園を増やしてほしい。（40代・女性、小2のこどもあり）
- 緑地の管理については私有林の管理費（木を1本切るのに40万など）が高く、赤字。維持できなくなり林が荒れる。（50代・女性）
- 公園も、限定的な時間帯でボール遊びを認めるなど柔軟な利用ができると良い。（50代・女性）
- 近隣からのクレームを恐れて「ボール禁止」などのマイルールが増えている。（50代・女性）
- 農業体験を通じて一次産業に関心を持つ人を増やすのは良い取り組み。補助金や助成金制度もあるとさらに効果的だと思う。（30代・男性）
- 鎌倉野菜が戸塚で作られているように、横浜も「浜なし」や「はまぼーく」など、横浜農場として農作物をブランド化し発信すべき。（70代・男性）
- 緑が好きなので、緑がたくさんある、自然がたくさんあるところがいいな。（小学生）
- 青葉区は自然が豊かで、こども向けの大規模公園など緑の多い場所があり、公園も多く整備されている。（60代・男性）
- 戸塚に住んでおり自然が多い。犬の散歩に適した公園が多く、埼玉や東京よりも環境が良い。（20代・男性）
- 自然は多いが、ドッグランが少ない。もっと増やしてほしい。（20代・男性）
- 適度な自然があり、大きな公園（マラソンなどできる）があつて遊びやすい。都心と比べると家賃が安い。（40代・女性）
- 農地保存地区など緑が多いのが満足な点。（60代・女性）
- 小さい公園は多いが、トイレや水飲み場がなく、ボール遊びも禁止の場所が多いため使いづらい。（30代・女性、小6／小3／小1のこどもあり）
- 都内への通勤ラッシュが激しく、通い続けることができなかつた。ただ、海が近く、アウトレットや自然が多い公園も車を少し出せば行けるため、住み心地は非常によい。（40代・女性、小2のこどもあり）
- 横浜は都市開発が進んでいる点は非常に良いと感じている。一方で自然が減り、大きな公園も少なくなり、野球ができる場所が減っている。（40代・男性、小4のこどもあり）
- 都市開発が進んでいて、電車も身近にたくさんあってすごくいい一方、大きい公園が近くになくて野球がしづらいと思う。（小学生）
- 海が近いと、遊べるからうれしい。（小学生）

- 港北ニュータウンは緑道が整備されている。 (70代・女性)
- 大都会すぎず自然もある、そのバランスが魅力だと思う。 (50代・女性)
- 自然が豊かで季節の移ろいを感じられ、生き物や鳥、虫が生息している点が良い。 (60代・女性)
- 生まれ育ったので住み続けたいが、住んでいると見えなくなってしまう部分があるのかなと思う。地方都市と比べ公園が寂しい（大規模な観光地向けはあるが郊外が少ない）。横浜ブランドに安穩とせずお金の使い方を考えてほしい。 (60代・男性)
- 横浜が好きという気持ちが一番大きい。自然を大事にしつつ住みやすくできる。高齢者だけでなく若い人が魅力に感じる街づくりが必要。 (60代・女性)
- 生まれも育ちも横浜であり、ここが生活の基準となっている。適度に都会でありながら緑もある環境が十分であると考えており、住み続けたいと考えている。 (40代・女性／小2のこどもあり)
- 港北区は公園が多く子育てがしやすい環境であり、教育に熱心な家庭も多い。懸念点として、家賃や物価の上昇、人口密度の増加によって、これまでのように気軽に住める環境ではなくなる可能性がある。 (20代・男性)
- みどり税の使途が不明瞭なため、透明化を求めている。 (30代・男性)
- 横浜市全体で見れば、緑が豊富な地域や道路の広い地域があり、魅力だと思う。 40代・男性／小4のこどもあり)
- 港北ニュータウンの緑道は素晴らしい、みどり税が使われていることに納得。 (70代・女性)
- 埼玉や千葉よりも自然がありリラックスできるので良い。 (20代・女性)
- 都会の華やかさもあるが、自然の風を感じられることが大切だと思う。 (60代・女性)
- 公園で子連れの家族を見ると治安の安心感があり、ファミリー世帯がもっと増えてほしい。 (40代・男性、小5のこどもあり)

【その他意見】

- 國際プレゼンスの向上について、横浜ブランドは何だろうと疑問に思う（60代・男性）
- 市の仕事として最重要なのは「住みやすさ」。特に子育て、防災、高齢者、障害者の施策に手厚く金をかけ、東京に見劣りしないベースを整えるべき。市の施策を市民にもっとわかりやすく伝えるべきだと思う。自分に関係ないと思っていても、身近な人の支援に役立つことがある。横浜市なら答えを示してくれる、案内してくれるという信頼感が必要だ。（50代・女性）
- 市が何を考えているのか、どんなことを目指しているのかが見えにくい。もっと積極的に発信してほしい。（60代・男性）
- せっかく多くの取り組みがあるのだから、それを広く伝えてほしいと思う。（60代・男性）
- 前回計画の達成度や未達理由（脱炭素化、企業誘致が進んでいない）を知りたい。（40代・男性、小4のこどもあり）
- ふるさと納税の流出額が大きく、やりたいことの予算がなくなっているのではないか。それは寂しい。（40代・男性、小4のこどもあり）
- 広報よこはまは情報源として優秀で、これを活用して人とのつながりの場を作っていてほしい。（70代・女性）
- 14の政策群は細分化しすぎなのではないか。交通とまちづくり、環境と観光、医療と高齢者・障害者は一体化して進めるべき。（50代・男性）
- 横浜で暮らして10年になるが、それまで暮らしていた兵庫県も含め、これまでの人生で暮らしにくさを感じたことはなく、暮らしやすさは当たり前だと感じている。（40代・男性）
- 結婚して住む場所を決める時、川崎と横浜を比較し、横浜の方が良さそうだと感じて決めた。（60代・男性）
- 全体的に住みやすい街だと思う。南は鎌倉や逗子にも近く、地域ごとに特徴があり、それぞれの住みやすさがある。（60代・男性）
- 生まれてからずっと港南台に住んでおり、結婚の際も親の近くが良いという理由で港南台を選んだ。都内通勤は少し遠いが、不便と感じたことはなかった。（50代・女性）
- 市民税が高いと言われることもあるが、自分自身は特に負担を感じていない。（50代・女性）
- 10歳から横浜に住んでおり、暮らしやすさについて考えたことがないほど自然に暮らしてきた。（50代・女性）
- 自炊中心の生活だが、近隣スーパーはやや物価が高い印象。（30代・女性）
- 個人的には区役所（港北区役所）や行政の対応も丁寧かつ迅速で、コロナ給付金対応などを通じて行政システムへの信頼感を抱いている。暮らしやすい環境である。（30代・男性）
- 田舎すぎず都会すぎず、どの世代にも過ごしやすい環境だと感じる。（50代・女性）
- 「日本＝横浜」と言えるほどの知名度があると思う。（50代・女性）

- 住み続けたいと思う。住みやすく、都会と田舎の良さを併せ持つ街だと感じる。 (60代・男性)
- 横浜は老若男女を問わず、誰でも暮らしやすいエリアだと思う。 (30代・男性)
- 閑静な住宅街に住みたいという気持ちがある。 (30代・男性)
- 同僚のドイツ人が在留資格の手続きで横浜か都内かを迷っていたが、手当の手厚さを比較すると都内の方が有利だった。 (20代・女性)
- 一人暮らしや若い夫婦には住みやすい環境だが、教育や経済面を考えると、将来的には別の地域も検討するかもしれない。 (20代・女性)
- 川崎も住みやすいと感じたが、最も好きなのは横浜だと思う。 (20代・女性)
- 東京は家賃が高く人も多いため、落ち着いて暮らすには向かない印象がある。 (20代・女性)
- 横浜は全体的に「ちょうどいい」と感じる。東京は便利だが家賃が高く、治安も気になる。横浜は交通の便が良く、公園など自然も身近で、東京よりも穏やかに暮らせる。 (20代・女性)
- 住む人が満足していればいい、万人受けの必要はない。横浜は歴史的なイメージがあり得をしている。しかし、東京都との財政格差とふるさと納税の制度には大反対。財政で差がつくことの方が問題。 (60代・男性)
- 15～16年住んでおり、旭区は田舎で静かで、騒音がないので住み続けたい。一軒家で物音がないのも良い点。 (40代・男性、小6／小5の子どもあり)
- 税金が高いイメージがある。特に、実質的には年間900円高いだけだが、みどり税が高い印象を与えていた（印象として）。市営住宅に学生も入れ、高齢者の生活サポートをという取組を聞いたことがあるが、そういうこともやってもらえるといい。 (70代・男性)
- 住み続けたい。交通の利便性、自然環境、国際的である点が魅力。若い時も子育てしやすかった。若い人にも薦めていける。 (70代・女性)
- 定年後は横浜を離れたいと考えている。より自然のある場所に移り、安価な田舎に住むことで資産として残せると考えているためである。都会は窮屈だと感じている。 (40代・男性、小4の子どもあり)
- 娘は横浜で育ってきたため、今後もこの地に触れさせたいと考えている。 (40代・女性、小2の子どもあり)
- 横浜に住み続けたいという思いはあるが、妻との話し合いの中で「住み続ける場所ではない」という結論に至っている。将来的には食べ物が美味しい北海道との二拠点生活を予定しており、早期引退とマンションの継承を経て実現したいと考えている。 (40代・男性、小1の子どもあり)
- 家を購入したこと、子どもの進学を考慮すると、当面は横浜に住み続けると考えている。ただし、夫の定年退職後はゆかりのある福岡への移住を希望している。歳を重ねると坂の多いこの街での生活は難しく、病院も遠いため、将来的に住み続けることは現実的ではないと考えている。 (30代・女性、小6／小3／小1の子どもあり)

- 家を購入し、両親および夫の親も近隣に居住していることから、横浜から離れるという選択肢はほとんど想定していない。夫は沖縄移住を希望しているが、娘が友人と別れを望んでいないため、現時点では横浜を離れる可能性は低いと考えている。（20代・女性、小2／未就学児／未就園児のこどもあり）
- 3階建ての家を購入しているが、将来的に年齢を重ねた際には住み続けるのは困難になるとを考えている。夫の勤務先が変われば家を売却し、別の場所へ移る可能性が高い。京都では3階建ての広い家を購入することは難しく、当時はその点が横浜に住むメリットであった。（30代・女性、中1／小3／小2のこどもあり）
- 選択肢が多く、空気もきれいで、人との距離感が心地よい。（20代・女性）
- 現状では仕事や買い物面での生活利便性が高いと感じているが、老後を見据えると移住を望む気持ちがある。休日に人が集まりすぎる点に少し疲れを感じていて、田舎暮らしへの憧れを抱いている。物価の高さも懸念点。近くのスーパーの閉店後はごみ分別の柔軟性が下がってしまい、罪悪感を抱いている。（30代・女性）
- 自分の市に納税したくなるような戦略が必要。ふるさと納税で節税対策する人が多いが、その結果、自分の市のインフラが整わないのはおかしい。（40代・女性、小5のこどもあり）
- 現在は持ち家で、新横浜を選んだのは資産価値を考慮したこと。東京に近く、今後も価値が落ちにくい場所だと判断した。購入時はちょうど東急新横浜線の直通開通前だった。（30代・男性）
- 横浜は良いところだと自信を持って勧められる。（50代・女性）
- 横浜は人を連れて遊びに行きたい場所だと思う。出身の大和市には娯楽が少なく、子どもの頃に家族で遊びに行ったのはいつも横浜だった。自分にとって第二の故郷のような思い入れがある。（30代・男性）
- 友人が遊びに来た際、多くが「横浜=みなとみらい」というイメージを持っているが、港南区はそのイメージとは異なる地域。都内と比べて通学の選択肢が少ない。（40代・女性、小2のこどもあり）
- 海やショッピング施設が充実しており、地方の友人を招くにも適している。大和市などと比較しても青葉区は暮らしやすい（家賃は高い）。（30代・女性）
- 適度な田舎さと適度な都会さの「ちょうどよさ」が魅力。東京はあちこち行く必要があるが、横浜は横浜駅の周辺で事足りる。（50代・女性）